

# News Release

平成30年 7月30日

一般社団法人神奈川経済同友会

代表幹事 石渡 恒夫

代表幹事 川村 健一

## 第15回神奈川産学チャレンジプログラムの 累計応募学生数が1万人を突破しました

- 第15回神奈川産学チャレンジプログラムの応募学生数は1,150人となり、第1回からの累計応募学生数は10,898人と、1万人を突破しました。
- 7月より、学生チームは、各企業の提示する課題解決のためのレポート作成に取り掛かりました。完成目標は9月末です。
- 優れたレポートに対しては、参加企業より最優秀賞、優秀賞を授与します。また、節目となる第15回を記念して、特に優れたレポートに対して、神奈川経済同友会より特別賞（仮称）を授与します。

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会の会員が所属する企業と神奈川県内の大学が中心となって行う、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究プログラムです。

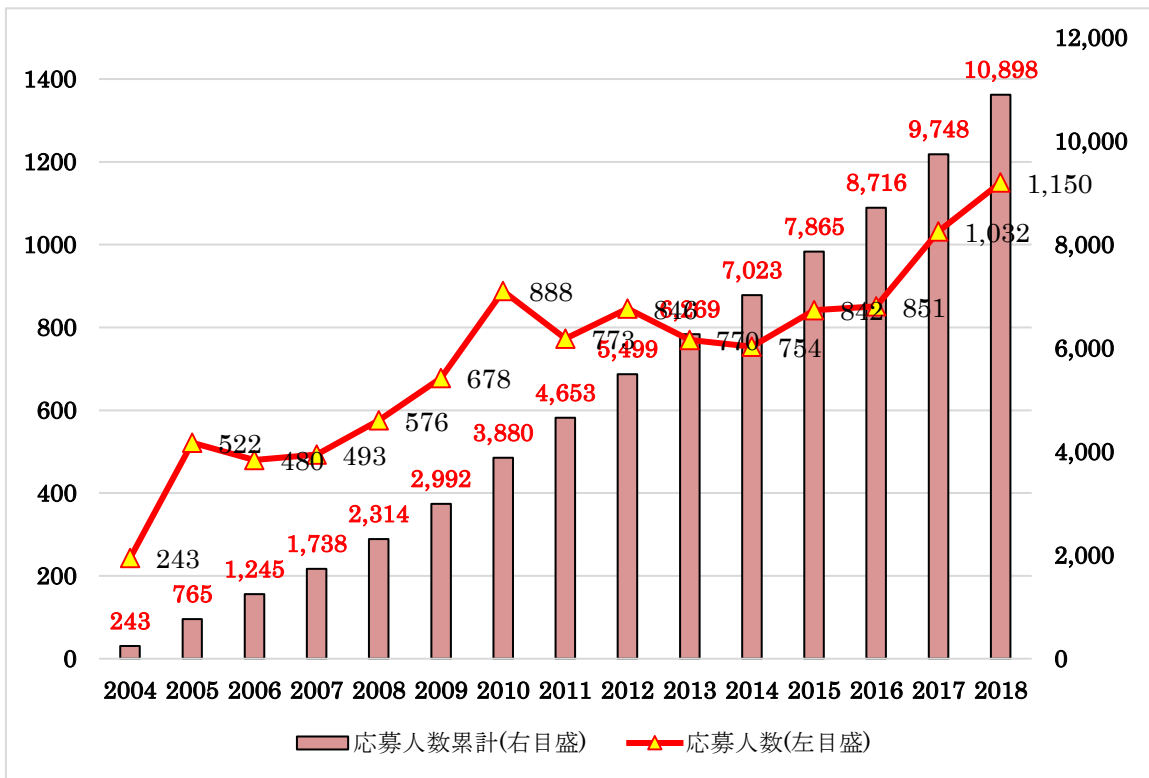
15回目となる今回は、参加企業数35、参加大学数20、参加学生数1,150人と、過去最大規模となり、第1回からの累計応募学生数は10,898人と、1万人を突破しました（資料1～4）。学生チームは、各企業の提示する課題（37テーマ）のいずれか1つにエントリーし、7月より、課題解決のためのレポート作成に取り掛かっています。完成目標は9月末です。

学生の作成したレポートは、10月以降、各企業において厳正な審査が行われ、審査結果は、12月18日（火）パシフィコ横浜会議センターにおいて開催される表彰式において発表される予定です（資料5）。優れたレポートに対しては、参加企業より最優秀賞、優秀賞を授与します。また、節目となる第15回を記念して、特に優れたレポートに対して、神奈川経済同友会より特別賞（仮称）を授与します。



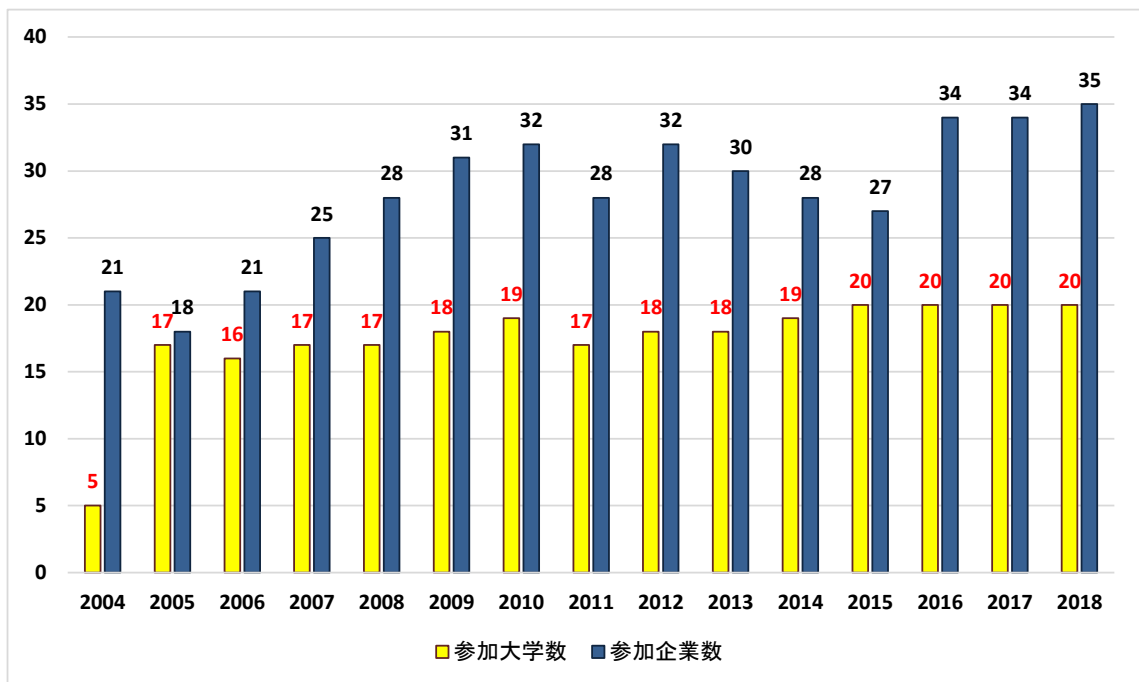
資料1. 応募学生数の推移

(単位：人)



資料2. 参加大学数・企業数の推移

(単位：校、社)



### 資料3. 第15回参加大学一覧

(五十音順)

青山学院大学	専修大学
神奈川工科大学	東海大学
神奈川大学	東京都市大学
鎌倉女子大学	東洋英和女学院大学
関東学院大学	フェリス女学院大学
國學院大學	文教大学
相模女子大学	明治大学
産業能率大学	横浜国立大学
松蔭大学	横浜商科大学
清泉女子大学	横浜市立大学

## 資料4. 第15回参加企業・テーマ一覧

(企業名五十音順)

企業名	提示テーマ
旭企業(株)	当社（運送業）における多様な働き方の実現
A L S O K 神奈川(株)	神奈川県に根ざす「安心・安全」を提供する会社ができる地域貢献、地域活性と雇用の確保
一幸電子工業(株)	効果的な会社PRが行えるホームページの提案
	A I（人工知能）の活用について
ウエルシア薬局(株)	ウエルシア薬局を一兆円企業に押し上げる新サービスの提案
S M B C 日興証券(株) 横浜支店	学生にSMB C日興証券を就職先としてアピールするための施策
江ノ島電鉄(株)	江ノ電沿線エリアにおいて観光客の滞在時間を長くする施策提案
(株) L R 小川会計	A I・ロボット時代における会計事務所（L R小川会計グループ）のビジネスモデル
大塚製薬(株)横浜支店	神奈川県の抱える健康課題解決を目指す上で大塚製薬(株)横浜支店が生活者から最も信頼される会社となる為の取組についての提案をしてください。
(株)神奈川銀行	～貯蓄から資産形成へ～ 地域の皆さまの金融リテラシー向上と、資産形成に貢献できる神奈川銀行ならではの新しい取り組みを考える
神奈川中央交通(株)	個人のインバウンドに対し当社バスをいかにしてご利用頂くかの方策提案 ～当社事業エリアにおける需要の創出から海外への情報発信まで～
川崎信用金庫	今ある川崎の観光資源等を活用し、川崎への観光客を2倍にする方法とは？
川本工業(株)	設備工事業界における次世代事業モデルを考える
(株)崎陽軒	シウマイ（シュウマイ、焼売）の普及拡販
(株)京急アドエンタープライズ	日本を体験する沿線旅客誘致 ～これぞNIPPON体験事業～
京急建設(株)	I C Tを活用した建設業界の労働環境改善策
(株)京急システム	京急線アプリを進化させよう！
(株)京急自動車学校	自動二輪車（オートバイ）免許取得者を増大させる施策の研究
(株)京急ステーションコマース	駅の魅力を高めるための新しい「駅ナカ」の店舗・サービスとは ～“つい立ち寄りたくなる”お店・利用したくなるサービスとは～
(株)京急ストア	最先端テクノロジーを活用した店舗運営の提案

企業名	提示テーマ
(株)京急百貨店	当社のコンセプトである「生活者本位制百貨店」の更なる発展に繋がる、AIを活用したお客様向けサービス・マーケティングの提案
京浜急行電鉄(株)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに際し訪日する外国人を三浦半島へ誘客するための施策について
京浜急行バス(株)	超高齢化社会に対応したバスサービスの提供
山陽印刷(株)	中小印刷会社として提供出来る付加価値の高い商品やサービスの提案
湘南ステーションビル(株)	これからの駅ビルに求められる高齢者対策の取り組み・これからの駅ビルに求められるインバウンド対策の取り組み
相鉄ホールディングス(株)	エリアマネジメント拠点の活用方法について
東急建設(株)	東急建設と神奈川県内地域産業とのコラボレーション企画の提案
ナイス(株)	日本を代表する新たな木造建築の立案 ～東京オリンピックを活かして木の文化を世界へ発信しよう～
日本生命保険(相)	日本生命のブランディング向上
(株)マイナビ 神奈川支社	業界・企業の理解が深まるインターンシッププログラムをご提案ください
(株)山田債権回収管理 総合事務所	小田原市のまちづくり
(株)ヨコソー	『YOKOSOHブランド』の認知度最大化を目的とした広報戦略、マーケティング戦略の立案
	高齢化・人口減少によるマンションの有効活用
(株)横浜岡田屋	ネットの時代に、お客様がわざわざ足を運びたいような横浜モアーズに一から作り直す計画を提案してください。
(株)横浜銀行	地域金融機関としてふさわしい100周年記念事業の企画・立案
横浜新都市センター(株)	横浜駅東口から「みなとみらい21」への玄関口として位置する「横浜新都市ビル(そごう)」を、より多くの人が集い、愛される施設とするための具体的な提案
(株)横浜ステーションビル	シアル桜木町における訪日観光客に向けた情報発信について

## 資料5. 第14回表彰式の様子（平成29年12月19日）

石渡代表幹事の開会挨拶



太田教育文化委員会委員長による最優秀賞の発表



表彰式後の懇親会風景



資料6. 第14回最優秀賞受賞チーム一覧

(大学名五十音順)

大学名	チーム名	企業名	テーマ
神奈川大学	藤本	江ノ島電鉄株式会社	お客様が付加価値を感じることができる湘南土産の開発とプロモーション戦略
鎌倉女子大学	堀内	京急建設株式会社	I C Tを活用した建設業界の労働環境改善策
関東学院大学	西川	株式会社京急ストア	京急ストアが出来るコト(付加価値)のサービス
相模女子大学	小此木	S M B C日興証券株式会社 横浜支店	創業100周年を迎えるにあたって、S M B C日興証券のブランドイメージを高める戦略について
産業能率大学	田中	A L S O K神奈川株式会社	地方創生「神奈川県西部過疎地域の活性化と雇用促進の具体的施策」
	増永	株式会社横浜銀行	投資未経験者がハマるスマホ用資産運用アプリ
専修大学	杉村	株式会社ヨコソー	マンション・団地におけるコミュニティの形成及び活性化アイデア
	由川	横浜新都市センター株式会社	横浜ポルタのインバウンド施策 ～外国人が多く来店してもらうための魅力ある施設にするには～
東京都市大学	片山	東急建設株式会社	ポスト五輪に向けた施策提案 ～全国で東急建設の認知度を高める、かつ同業他社との差別化が意識された内容であること～
文教大学	岡田	京浜急行電鉄株式会社	京急電鉄創立120周年記念企画の提案
	串橋	川崎信用金庫	当金庫100周年に向けた「イメージキャラクター」の提案
	熊谷	株式会社三好商会	若者が入社したいと思う魅力ある中小企業とは(建材商社や建設業界の会社をターゲットに魅力ある中小企業の条件とは何かの提案を求めます)
	鈴木	株式会社神奈川銀行	地元(神奈川)の活性化に貢献するために、これからの銀行の姿はどうあるべきか
	関	株式会社横浜岡田屋	いまの横浜モアーズを「超高齢化時代に向けた、アクティブなシニア世代をターゲットにしたショッピングセンター」として、全館リニューアル計画を提案して下さい
	田代	一幸電子工業株式会社	一幸電子工業株式会社の効果的なPR方法
横浜国立大学	鈴木	株式会社京急百貨店	豊かな暮らしと沿線の魅力創出に資する、百貨店が提供する新しいコト体験企画の提案
	長谷川	ウエルシア薬局株式会社	10年後にお客様に支持される新しいビジネスモデルを構築する
横浜商科大学	長田	株式会社京急システム	京急グループを活性化させるインバウンド向けITサービス
横浜市立大学	宇川	株式会社横浜ステーションビル	シアル鎌倉において鎌倉の魅力をいかに発信するか
	鈴木	京浜急行バス株式会社	羽田空港リムジンバスのインバウンド旅行者向けPR
	畑中	株式会社山田債権回収管理総合事務所	伊豆半島の温泉街の再生



## 資料7. 最優秀賞の商品化事例

「第13回神奈川産学チャレンジプログラム」において、最優秀賞を受賞した専修大学・上村チームの提案を、参加企業である㈱京急ストアが商品化しました（テーマ:「春のお弁当をプロデュースしてください ～売場にあなたのアイデアを～」）。

商品化された「春のひだまり弁当」



## (ご参考) 神奈川産学チャレンジプログラムについて

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会の会員が所属する企業と神奈川県内の大学が中心となって行う、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究プログラムです<sup>(※)</sup>。

本プログラムでは、参加企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを設定し、大学が各テーマにチャレンジする学生チームを募ります。学生チームは数か月をかけて研究テーマに取り組み、研究成果を大学・当会を通じて企業に提出します。企業は提出された研究成果の審査を行い、優秀なレポートについては、表彰式において表彰します。

本プログラムの特徴は、次の通りです。

- (1) 企業、大学、学生による産学連携の形で実施される、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムです。
- (2) 学生にとっては、企業が提示するテーマが多岐にわたるため、社会・人文科学系あるいは理工科学系を問わず幅広い研究を必要とし、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされます。
- (3) 参加企業にとっては、企業の知名度アップや学生の斬新なアイデアの取り込み、優秀な人材の発掘など、参加大学にとっては、学内の活性化や、企業の求める人材像を踏まえた就職指導の実現などの効果が期待できます。

第15回神奈川産学チャレンジプログラムは、以下のスケジュールに従って進めていきます。

4月～5月上旬	学内における学生チームの募集
6月中旬まで	学生チームの研究テーマの決定
6月末まで	学生チームに対する企業からのテーマ等に関する説明
9月末まで	学生チームがレポート作成
10月上旬	学生チームが大学にレポート提出 当会が全大学のレポートを取りまとめ、各企業に提出
11月中旬まで	各企業にて審査実施
11月中下旬	各企業は審査結果を当会に提出 当会より各大学に審査結果（入賞）を通知
12月18日	表彰式、入賞者のうち、最優秀賞を発表（最優秀賞以外は優秀賞）

(※) 神奈川経済同友会の教育文化委員会は、平成14年5月、当時の雇用情勢を背景に、企業・大学に対して、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップや、ミスマッチの解消のための諸施策を提言しました。その提言を契機に、平成15年1月末、神奈川大学、関東学院大学、東海大学、横浜国立大学、横浜市立大学の5大学と神奈川経済同友会との間で、産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」が発足し、その連携の一つの試みとして、平成16年に学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的とした「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」が、5大学、21企業の参加でスタートしました。その後、毎年開催される中で、趣旨に賛同する大学、企業から積極的な参加をいただき、規模の拡大と内容の充実を図りつつ、現在に至っています。